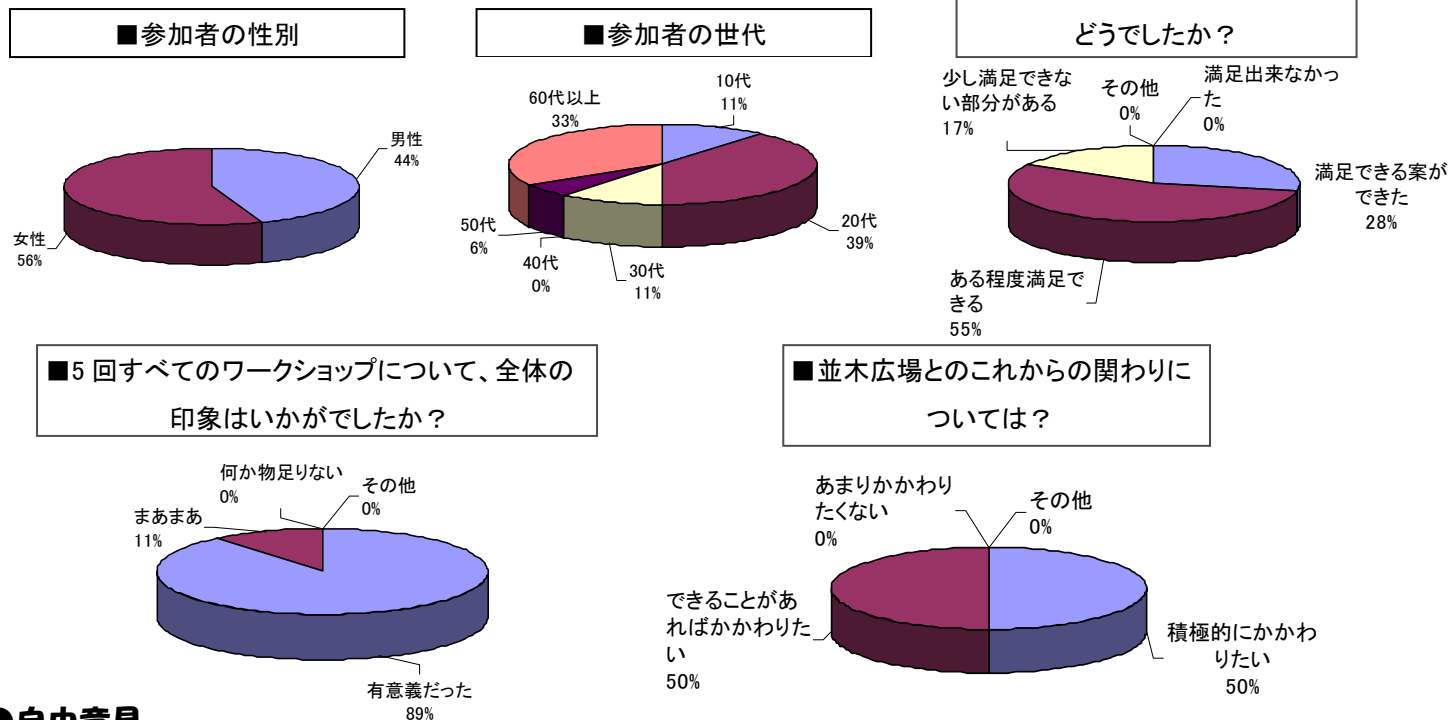


●アンケート結果



●自由意見

- やはり何かをしようとするときは人の関わりが大切だと改めて実感しました。今後はせっかくここまで続けてきたこの活動を発端として新たな活動にも参加したいと思った。
- 今回の話し合いは、これまでのまとめ、具体化、今後についての内容だった。具体化する話し合いでは、前々回ぐらいから出ている樹木の種類の話しが続き、進展しているのか若干不安に思った。結果としては、今後も地域住民が積極的に関わることが重要だとわかって良かった。可能な限り活動に参加したい。
- 身近な場所にできるところなので、機会があるときは家族でゴミ拾いなどのボランティアに参加していきたいと思います。千早の価値やイメージが少しでも良くなるような素晴らしい憩いの場を作っていただけることを期待しています。
- 周辺の活用等にも左右されるであろう広場のイメージがいまひとつピンと来ないです。でも、みんなのいっしょけんめいさで、私もずっと関わっていききたい気持ちになりました。美しい、新鮮な並木広場を作りあげましょう！！
- 何か一つの物をいろんな人とつくるのは大変なことを学ばせていただきました。自分の個人的な考えとして、やっぱり今日の用意された案は、中央部分をもっと面白くしてもらいたいと思いました。
- 学生さんが多く参加しているところに入れて良かったと思います。若いのにみんなしっかりしていてとても頼もしい。ありがとうございました。
- まちづくりにおいて「ルール」をつくるのが一番大切なんだと感じました。私自身、このまち（広場）の運営に携わりたいと思っています。ワークショップおつかれさまでした。
- 今回のワークショップの運営おつかれさまでした。並木広場が良いものになるようにこれからも応援します。今後は地域のPRが大切ですね。
- 中学生としての意見を言うことができたので良かったです。他の方の意見も聞けてとても勉強になりました。
- 役所業務上のワークショップは比較的新しい考え方で市民としては歓迎したい。ただし、何か問題発生時の「隠れ蓑」にはして欲しくない。「予め市民の意見まとめて実施した」との隠れ蓑的扱いじゃなく、市民の声を集めて作りあげたことを念頭に欲しい。
- 若い方の話が聞けて楽しかった。これから千早の発展が楽しみです。並木広場の花いっぱい運動に参加します。
- 千早がよい方向に変わっていけばうれしいです。今後も何か関わることがあればと思います。
- 地域の人と関わってとても良かった。このワークショップを開いてくれてありがとうございます。
- 千早校区が良い方向に変わっていくことを嬉しく思い、出来ることは手伝いたいと思っています。ワークショップ楽しかったです。ありがとうございました。

ミニイベント 並木広場デザイン展 開催のお知らせ

2月 19日(木)～21日(土) JR・西鉄千早駅コンコース

計画案に至る経緯（ワークショップや並木広場のイベントその他）などのパネルや模型の展示、アンケートを行います。
また、ファンクラブの募集、種まきボランティアの募集などもあわせて行います。

千早 並木広場 vol.5 デザインワークショップニュース

発行：平成 21 年 1 月 20 日号 千早並木広場活用検討協議会



事務局から提示されたデザイン案をみなさんで確認！ (ワークショップ最終回)

前回（第4回）は、10月の並木広場フェスタにおける5つのデザインのアンケートや投票結果を踏まえ、デザイン要素の項目に応じたパターン化をして、評価し、共通するキーワードを引き出し、最終的な並木広場のイメージを共有しました。今回は、これまでの検討に基づいた最終案を見て、並木の植え方や樹種のこと、イベント広場の位置・大きさ、ベンチやトイレなど施設内容の確認をし、各項目について、気に入った点、改善点、追加すべき点等をポストイットに記入して発表していただきました。

ワークショップの概要

- 第1回 <情報の共有と利活用のアイデア> 6月28日(土)10:00～12:30 **済**
- 第2回 <利活用の方針と課題> 7月26日(土)10:00～12:30 **済**
- 第3回 <広場の構成を考えよう> 9月6日(土)10:00～12:30 開催 **済**
- 第4回 <デザインの検討> 11月1日(土)10:00～12:30 開催 **済**
- 第5回 <まとめ> 12月20日(土)10:00～12:30 開催 **済**

◆第5回 プログラム◆

- 10:00 1. 開会・あいさつ
グループ分け
前回の振り返り
- 10:15 2. 広場構成を考えよう part3
成果の取り扱い
最終案の確認
発表とまとめ
- 11:15 3. 広場のこれからの考えよう
フェスタを振り返る
みんなが自由に使える広場とするために
ワークショップを振り返る
- 12:30 4. 閉会

ワークショップとは、「作業場」「工房」を意味し、共同作業や対話を通してお互いの意見、考え方を共有し、合意する会議手法です。

1 ワークショップでの成果の取扱いと今後のスケジュールについての説明

ワークショップでの成果（計画案）の取扱いと今後のスケジュールについて説明を行いました。



2 計画案の説明

第4回までのワークショップでの検討をふまえ、事務局で計画案を作成し、作成ポイントもふくんだ説明をおこないました。

樹木の配置

- ・両側に高木を列植し、中央部にやや低い樹木を植える。

イベントスペース

- ・国道側と駅側に区画道路を挟んだ形でイベントスペースを設ける。

歩行者通路

- ・広場の両側に主要動線を確保し、中央は施設などで動線を誘導する。

導入施設

- ・トイレ、パーゴラ、ベンチ、照明灯、水飲み、ステージ、花壇等

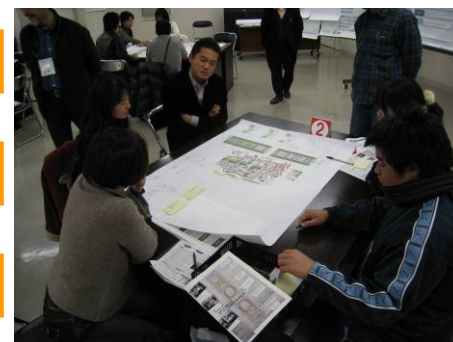
両側のメインの並木はケヤキ



3 計画案の確認

計画案をもとに各項目についてポストイットに気に入った点、改善点、追加すべき点等を記入しました。

- 空間構成（並木の植え方・イベント広場の位置・イベント広場の大きさ・芝生広場の大きさ）
- 施設内容（ベンチ・パーゴラ・便所等）
- 樹種（両側はケヤキ）
- デザインのキーワード（都市的、柔らかい等）



	全体構成	施設	樹種	デザインのキーワード
1班		・トイレ周辺の浮浪者対策		・都市的なイメージとやわらかさ、両方が欲しい ・内部はやわらかに ・土は本当に論外か ・両端の道は歩き易く、都市的に ・保水性の舗装 ・舗道の目地にタバコの吸殻
2班	・足に負担がかからない素材。	・下から木も照らすライト（オレンジがかったライ）ト		・モニュメント（昔の記憶） ・受けの作り方 ・舗装を工夫 ・冬のイルミネーション ・売りになるデザイン ・ポイントをつくる（個性）
3班	・国道3号線の方は文句なし ・千早側はビル風対策を ・ベンチはビルから遠くへ、誰も座らない ・千早側日陰になる 夏はいいが、冬（特に午後）利用しづらい	・トイレは真ん中であつた方が利用しやすい ・トイレは周囲の監視の届くところへ ・あまりうっそうとした中にあると使用しづらい、怖い ・この敷地内の草木の手入れがしたい。	・桜は一種類だけではおもしろくない ・手入れのしやすいものがない ・どんぐりを植える、子供が集まる	・周りの近代的な雰囲気に対抗して日本庭園風に ・道の素材/落ち葉対策をするのなら水を吸う素材にしよう ・やわらかいチップ材 クッション性のある舗装材 ・駕与丁公園の歩道舗装ジョギング仕様 ・あまり明るい色はやめよう ※汚れると汚さがより目立つ、だから落ち着いた色のものがない
4班	・入口の木の中の木の本数 ・芝の入れ方（グラデーション） ・並木のデザインと足元のデザインを連動させる	・トイレはつくらなくてもよいのでは？	・ナンキンハゼ 秋も冬もキレイ！	・曲線のイメージでやわらかい印象 ・人工的なものは嫌！ ・操車場のイメージを細部にデザインとして落とし込む
まとめ	・駅からR3から入口部の受け（樹木） ・芝生広場の位置（グラデーション） ・直線・曲線-並木配置とデザイン統一 ・周辺施設 ビル風、陰	・トイレは周辺施設で（浮浪者対策） ・使いやすく中央？端？ ・樹木ライトアップ（暖かいオレンジ）	・ナンキンハゼ ・桜一種類→多様な樹種で楽しむ	・暖かくやわらかく、曲線 ・半自然、半人工（木、土） ・操車場のイメージをまちの記憶を共有 ・足の負担軽く ・おしゃれ ・売りのポイント 例）イルミネーション ・歩き易く、足に負担なし 両側→都市的（直線） 中央→やわらかく（曲線） ・保水性・目地にゴミ（根上げ防止） ・明るい色：汚れる →落ち着いた色に

